

上場日における開示について

株式会社 東京証券取引所
上 場 部

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、投資者が適切な投資判断を行ううえで、必要な会社情報が迅速、正確かつ公平に提供されることは、証券市場の公正性・透明性を確保するうえで、極めて重要です。とりわけ、上場会社の決算関係情報は、投資判断を行ううえで最も重要な会社情報の1つとなります。

そこで、当取引所では、新規に上場される会社に対して、新規上場会社の業績等について投資者に広く周知を図る観点から、上場日に、「決算情報等のお知らせ」として直近の決算情報等について決算短信等に準じて開示を行っていただいています。

また、当取引所では、上場会社が、それぞれの実情に応じて将来予測情報の積極的な開示に取り組むよう要請しています。特に、新規に上場される会社に対しては、上場時に公表される業績予想が重要な投資判断情報であることを踏まえ、その公表時に前提条件やその根拠について適切な開示を行うよう要請しています。

なお、グロース市場に新規上場される会社におかれましては、上場日に「事業計画及び成長可能性に関する事項」の開示が義務付けられております。

新規に上場される会社におかれましては、これらの趣旨を踏まえ、下記の情報について、上場日にT D n e tにおいて開示を行っていただきますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 東京証券取引所への上場に伴う決算情報等のお知らせ（**開示フォーマット**参照）

- ・新規上場のお知らせ
- ・上場期の業績予想及び配当予想（業績予想の開示を行う場合）

※ 開示フォーマットは、「表形式」で業績予想の開示を行う場合のものです。

2. 直近の本決算又は四半期決算に係る情報（最低限、以下の内容を開示してください。）

- ・決算短信又は四半期決算短信のサマリー情報に準じた情報
- ・経営成績（次期の見通しを含む。）及び財政状態に係る定性的情報^(*)
- ・連結財務諸表

^(*) 業績予想に係る定性的情報の記載に際しては、**別添**記載要領をご参照の上、業績予想の前提条件やその根拠を含め、わかりやすく充実した説明につとめるようお願いいたします。

※ 詳細につきましては、決算短信・四半期決算短信の作成要領等をご覧ください。

（決算短信・四半期決算短信の作成要領等）

<http://www.jpx.co.jp/equities/listed-co/format/summary/>

3. 【グロース市場上場の場合】事業計画及び成長可能性に関する事項の開示

「事業計画及び成長可能性に関する事項」として記載いただく内容については、「作成上の留意事項¹」をご参照ください。

※上場日に開示を行う資料のTDnetへの登録手続き等については、上場承認後に改めて、当取引所の上場会社担当者よりご案内いたします。

※ 上場後におきましても、上場日に開示した内容について変更、修正すべき事情が生じた場合には、速やかに開示を行っていただきますようお願いいたします。

以 上

【お問合せ先】

上場部 ディスクロージャー企画グループ
TEL：03-3666-0141（代表）
050-3377-7698（夜間直通）

¹ <https://faq.jpx.co.jp/disclo/tse/web/knowledge7908.html>

開示フォーマット
〔表形式〕で業績予想の開示を行う場合)

各 位

市場区分（スタンダード市場・プライム市場・グロース市場）を記載

会社名 ○○○○株式会社
代表者名 代表取締役社長
（コード番号 市場）
問合せ先 取締役経理部長
（TEL. - - ）

東京証券取引所●●への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日、 年 月 日に東京証券取引所●●に上場いたしました。今後とも、なお一層のご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、当社の当期の業績予想は以下のとおりであり、また、最近の決算情報等につきまして別添のとおりに（添付資料は●年●月●日に公表済みの資料です。【←他市場経由の場合必要に応じて記載する】）であります。

【連結】※1

（単位：百万円、％）

	●●年●月期 （予想）		●●年●月期 第2四半期累計期間 （予想）※2		●●年●月期 （実績）	
	対売上高比率	対前期増減率	対売上高比率		対売上高比率	
売上高						
営業利益						
経常利益						
親会社株主に帰属 する当期純利益						
1株当たり 当期純利益		円		円		円
1株当たり 配当金		円		円		円

※1 連結財務諸表非作成会社の場合には、【個別】として個別業績予想等を記載

※2 上場日が第2四半期又は第3四半期決算の内容が定まった後の場合には、直近四半期累計期間の実績値を記載

以下、業績予想に係る定性的情報を記載

上場日の開示における業績予想に係る定性的情報の記載要領

○当社（グループ）全体の見通し

⇒全社的な説明を記載（会社を取り巻く環境についての記載、具体的数値（売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の金額及び対前年伸率）を記載）

○セグメント別の記載（単一セグメントの場合には「全体の見通し」に含めて記載）

開示上のセグメント別に記載（実額の記載が困難であれば定性的記載でも可）

⇒経営成績に関する定性的情報に記載されているセグメント別に予想数値策定の背景、前提、根拠等を記載（セグメント別の売上高、営業利益の具体的数値の記載は任意）

<記載例>（可能であれば数値化）

- ・セグメント別の事業環境を踏まえた業界の予測
- ・業界予測を踏まえたうえでの発行会社としての政策等
- ・販売数量（ユーザー数等）の見通し
- ・原価率等に大きな変動を見込んでいる場合にはその内容と背景
- ・営業費用での大きな変動を見込んでいる場合にはその内容と背景
- ・為替変動による売上高または利益への大きな影響を見込んでいる場合にはその内容（為替差損益も含む）、及び可能であれば前提としている為替レート
- ・期中に買収等を行っている場合で、買収等が売上または利益に対し大きく見込んでいる場合には、その内容（のれん代の影響も含む）

○営業外収支

⇒前年実績と大きく異なる状況を予想している場合にはその内容を記載

（前年並みの場合には特に記載は求めない）

<記載例>

- ・支払金利について前年実績と異なる影響（金利、借入残高）を予想している場合にはその内容
- ・前年に特殊要因がありその結果、前年伸び率が大きく変動するような場合には、前年の要因についても触れる（当期の経営成績の中で当該特殊要因について記載がある場合には次期の見通しの中での記載までは求めない）

○特別損益

⇒業績に影響を与える事象で特別に織り込んでいるものがあればその内容を記載

<記載例>

- ・前年に特殊要因がありその結果、前年伸び率が大きく変動するような場合には、前年の要因についても触れる（当期の経営成績の中で当該特殊要因について記載がある場合には次期の見通しの中での記載までは求めない）

○法人税等、少数株主損益

⇒前年実績と大きく異なる状況を予想している場合にはその内容を記載

<記載例>

- ・前年に特殊要因がありその結果、前年伸び率が大きく変動するような場合には、前年の要因についても触れる（当期の経営成績の中で当該特殊要因について記載がある場合には次期の見通しの中での記載までは求めない）

しの中での記載までは求めない)

○現在までの進捗状況

⇒通期業績予想に対する進捗率が期間の経過に比し著しく乖離している場合には、その内容及び達成見込みについて記載

(季節変動要素については、前年同期実績及び直前決算期実績が開示されている場合で、前年実績と同程度の偏りであれば特に記載は求めない)

以上